

血液製剤関係研究事業一覧

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H21年度 交付決定額	H22年度 交付決定額	H23年度 交付決定額	H24年度 交付決定額	課題合計
献血血の安全性確保と安定供給のための新興感染症等に対する検査・スクリーニング法等の開発と献血制限に関する研究	H20～22	倉根 一郎	国立感染症研究所ウイルス第一部	部長	7,200	8,000	—	—	15,200
輸血副作用の原因遺伝子ハプトグロビン欠失アリルの迅速簡便な診断法の確立と輸血前診断への臨床応用	H20～22	神田 芳郎	久留米大学医学部	教授	4,500	3,500	—	—	8,000
輸血副作用把握体制の確立・特に免疫学的副作用の実態把握とその対応	H20～22	高本 滋	愛知医科大学医学部輸血部	教授	5,850	7,000	—	—	12,850
献血者でのHBV-DNA陽性血におけるデルタ肝炎ウイルス感染の実態に関する研究	H21	八橋 弘	長崎医療センター臨床研究センター治療研究部	部長	2,000	—	—	—	2,000
献血者確保のための効果的な広報手法の開発に関する実証研究	H21～22	田久 浩志	中部学院大学リハビリテーション学部	教授	2,160	2,160	—	—	4,320
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立 —手術中の大量出血をいかにして防ぐか—	H21～23	荻野 均	国立循環器病研究センター心臓血管外科	部長	5,000	6,000	6,000	—	17,000
赤血球製剤を含めた血液製剤の病原体不活化法の開発と不活化評価法の開発	H21～23	岡田 義昭	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	5,000	6,700	6,030	—	17,730
医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究	H21～23	藤井 康彦	山口大学医学部附属病院輸血部	副部長	6,000	9,500	7,600	—	23,100
採血基準の見直しと献血者確保の方策に関する研究	H21～23	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野	教授	5,000	6,000	5,400	—	16,400
輸血用血液製剤に対する副作用を生じない病原体不活化技術の開発に関する研究	H21～23	山口 照英	国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部	客員研究員	8,000	8,240	7,370	—	23,610
献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究	H21～23	白阪 琢磨	大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部	部長	5,390	5,000	4,000	—	14,390
新生児輸血療法の安全性、有効性、効率性の向上に関する研究	H22	星 順隆	東京慈恵医科大学医学部	教授	—	6,600	—	—	6,600
輸血用血液製剤及び血漿分画製剤投与時の効果的なインフォームド・コンセントの実施に関する研究	H22～24	牧野 茂義	国家公務員共済組合連合会虎ノ門病院輸血部	部長	—	5,600	8,600	8,600	22,800
我が国における新規ヒトレトロウイルスXMRVの検査法確立等に関する研究	H22～23	浜口 功	国立感染症研究所血液・安全性研究部	部長	—	6,000	6,000	—	12,000
血液製剤の安全性確保と安定供給のための新興・再興感染症の研究	H23～25	倉根 一郎	国立感染症研究所	副所長	—	—	6,000	9,080	15,080
血液製剤への核酸増幅検査（NAT）の実施及びその精度管理に関する研究	H23～25	内田 恵理子	国立医薬品食品衛生研究所遺伝子細胞医薬部	室長	—	—	5,000	8,500	13,500
大規模災害等に備えた血液製剤の保存法と不活化法の開発に関する研究	H24～H26	岡田 義昭	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	—	—	—	6,000	6,000
献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究	H24～H26	白阪 琢磨	国立病院機構大阪医療センターエイズ先端医療研究部	部長	—	—	—	10,000	10,000
輸血療法における重篤な副作用であるTRALI・TACOに対する早期診断・治療のためのガイドライン策定に関する研究	H24～H26	田崎 哲典	東京慈恵会医科大学医学部	教授	—	—	—	8,320	8,320
抗HBs人免疫グロブリンの国内製造用原料血漿収集を目的とした国立病院機構職員を対象とするB型肝炎ワクチン接種の有効性、安全性及び皮下投与法と筋肉内投与法の比較に関する研究	H24～H26	八橋 弘	国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター	センター長	—	—	—	15,000	15,000
採血基準の見直しに関する研究	H24～H26	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野	教授	—	—	—	5,000	5,000
大量出血症例に対する最適輸血療法の確立に関する研究	H24～H26	宮田 茂樹	国立循環器病研究センター輸血管理室	医長	—	—	—	5,000	5,000
合 計					56,100	80,300	62,000	75,500	273,900

地球規模保健課題推進研究事業

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H21年度 交付決定額	H22年度 交付決定額	H23年度 交付決定額	H24年度 交付決定額	課題合計
アジア諸国における血漿分画製剤の製造体制の構築に関する研究	H23～25	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究所	教授	—	—	20,000	17,000	37,000
我が国の経験を踏まえた開発途上国における献血制度の構築と普及に関する研究	H23～25	宮崎 泰司	長崎大学医師薬学総合研究科	教授	—	—	7,000	10,000	17,000
合 計					0	0	27,000	27,000	54,000

政策創薬総合研究事業【人工血液開発関連課題】

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H21年度 交付決定額	H22年度 交付決定額	H23年度 交付決定額	H24年度 交付決定額	課題合計
血小板の高効率試験管内産生に向けた基盤技術の確立	H20～22	高木 智	国立国際医療センター研究所	部長	10,500	10,500	—	—	21,000
人工赤血球のICU使用を目的とした最適化およびME技術の改良	H20～22	武田 純三	慶應義塾大学	教授	10,500	10,500	—	—	21,000
安全なヒトiPS細胞を用いたテララメイド血液細胞の作成に関する研究	H21～23	湯尾 明	国立国際医療センター研究所	部長	8,609	8,500	3,825	—	20,934
人工ガンマグロブリンの製剤化への安全性と臨床試験におけた評価系の確立	H21～23	鈴木 和男	千葉大学	特任教授	43,238	42,357	14,825	—	100,420
H12 (ADP) リボソームの人工血小板としての前臨床評価 (効力と安全性)	H21～23	半田 誠	慶應義塾大学	教授	38,998	35,000	37,700	—	111,698
人工赤血球の臨床応用を目指した至適投与法の策定とGMP製造技術の確立	H21～23	堀之内 宏久	慶應義塾大学	准教授	36,454	37,150	33,435	—	107,039
合 計					148,299	144,007	89,785	0	382,091

創薬総合推進研究事業【人工血液開発関連課題】

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H21年度 交付決定額	H22年度 交付決定額	H23年度 交付決定額	H24年度 交付決定額	課題合計
人工血小板／H12(ADP)リボソーム：臨床研究への移行を目指した品質管理と薬物試験	H24～26	半田 誠	慶應義塾大学医学部	教授	—	—	—	26,000	26,000
人工赤血球 (ヘモグロビン小胞体) 製剤の実用化を目指す研究	H24～26	酒井 宏水	早稲田大学重点領域研究機構	准教授	—	—	—	26,000	26,000
合 計					0	0	0	52,000	52,000

※ 課題合計欄は、当該事業に交付決定された金額の総合計額である。